

JAPAN CUSTOMS 2020



財務省税関 一般職



関税局長からのメッセージ



明治25年(1892年)に制定された税関旗は、青い部分が「海と空」を、白い部分が「陸地」を表し、その接点に税関があることを示していると言われています。

令和4年(2022年)11月28日に、税関の前身である「運上所」が「税関」という呼称に統一されてから150周年を迎えます。明治開国以来長きにわたり、税関は、貿易秩序の維持及び日本の経済の発展に大きな役割を果たしてきました。

平成の約30年間で、貿易額は2.8倍、輸出入許可件数は5.5倍、訪日外国人旅客数は13倍となるなど、税関を取り巻く社会環境は大きく変わりました。その中で社会悪物品等の密輸リスクは益々増大しており、水際での法執行を担う税関への期待は一層高まっています。

税関はまた、徴税機関として適正かつ公平に関税等を徴収することや、貿易の円滑化も重要な使命としています。TPP11や日EU経済連携協定に引き続き日米貿易協定も発効し、その役割はますます重要となっています。



税関巡視艇「わかしお」にて神戸税関水島港を巡視

— 志ある皆さんを「税関ファミリー」の一員として迎え、若いエネルギーを原動力として新たな時代を切り拓き、将来の税関の礎を共に築く日が来ることを心から楽しみにしています。—

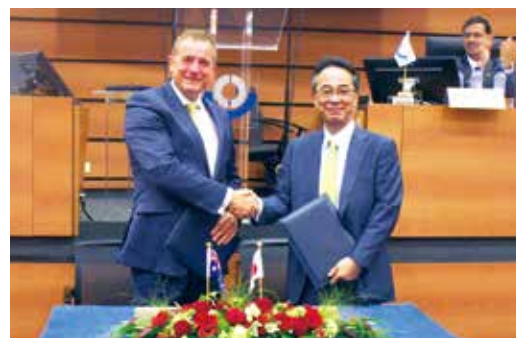
関税局長 中江 元哉



沖縄県那覇クルーズターミナルの視察



WCOセキュリティカンファレンス(2019年京都)



豪州国境警備隊長官とAEO相互承認取決めの署名式

令和3年(2021年)には東京オリンピック・パラリンピック競技大会、令和7年(2025年)には大阪で日本国際博覧会といった大規模な国際イベントを控え、迅速かつ円滑な通関と水際でのテロ対策にも万全を期し、国民の安全・安心を確保することも求められています。

将来の大きな変化に対応し、20年後、30年後も国民の期待に応えるため、これまでの仕事のやり方にとらわれず、柔軟な発想で関税政策・税関行政の企画立案に取り組むことが求められています。また、皆さんには、世界各国の税関職員とも「税関ファミリー」として結ばれ、ともに貿易の円滑化を実現していくなど、国際的な活躍の場も広がっています。

世界最先端の税関を目指して

経済活動のグローバル化が急速に進む中、3つの使命を税関は果たしています。

税関の使命

- 1 安全・安心な社会を実現する。
銃器・不正薬物・知的財産侵害物品等の密輸を阻止するとともに、我が国におけるテロ行為を未然に防止することにより「世界一安全な国、日本」を構築。
- 2 適正かつ公平に関税等を徴収する。
約9.1兆円すなわち国税収入の約14%に相当する額を徴収する歳入官庁として、適正かつ公平に関税等を徴収。
- 3 貿易の円滑化を進める。
国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、民間企業との協力やIT化の推進などを通じ、通関手続を一層迅速化。

税関職員は、5つの行動指針に則って、3つの使命遂行に取り組んでいます。

税関職員の行動指針

- ◎ 誠実に行動し、社会からの信頼と期待に応えます。
- ◎ 誇りと使命感を持って、業務に取り組めます。
- ◎ 円滑なコミュニケーションを図り、チームで前進します。
- ◎ 改善意識を高め、日本と世界の変化に機敏に対応します。
- ◎ 自ら学び考え、プロフェッショナルとして成長します。



空港旅具

大阪税関関西空港税関支署統括監視官
(旅具通関部門担当) 付

富田 こゆき 【平成30年一般職(大卒程度)行政】



国境の最前線を守るために

私は関西空港税関支署旅具通関部門に所属しており、航空機を利用して出入国する旅客の手荷物検査等を行っています。

当部門では、日本に持ち込んではいけない覚醒剤や麻薬、大麻などの不正薬物、爆発物やテロ関連物品、偽ブランド品などの知的財産侵害物品やワシントン条約で取引が規制されている動植物などを旅客が不正に持ち込もうとしていないか確認することを主な業務として行っています。また、海外から持ち込まれる物品に対して関税等の税金を徴収することもひとつの仕事です。

2019年においては、全国の税関で不正薬物の押収量が約3,318kgとなり、史上初めて3トンを超えました。このように、我が国への不正薬物の流入は拡大傾向にあり、極めて深刻な状況にあります。空港という水際で不正薬物等社会悪物品を輸入阻止する私たちの仕事は、そのような状況を鑑みると、国民の皆様が安心・安全に暮らすために極めて重要な仕事です。

当部門では、職員一人ひとりが旅具検査官と呼ばれ、旅客と

対面しながら検査を行います。入国する大勢の旅客の中から、一握りの不審な旅客を探し出すために、知識・経験から、どのような検査をすべきか自分で考えて必要な検査を行います。責任は大きいですが、その分密輸入を摘発できた時の喜びは大きく、とてもやりがいのある仕事です。

また税関は研修制度が充実しており、専門知識や外国語等の様々な研修を自分のレベルに合わせて受講でき、働きながら自己研鑽することが出来ます。

2021年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。海外からさらに多くの旅客が訪れ、税関での密輸対策がたいへん重要な施策となるでしょう。

皆さんもそのような重大な局面の中、私たちと一緒に税関職員として国境の最前線を守っていきませんか。



私は、横浜税関調査部情報管理室密輸情報担当で、不審貨物情報を取り扱う仕事をしています。

そもそも税関とはどんな機関か。一言で言えば、国際物流貨物のチェックを行う機関です。外国から運ばれる、あるいは日本から出ていく貨物の検査、審査をして、密輸輸出が行われないよう、適切な関税の徴収が行われるよう、日々貨物に目を光らせています。船で運ばれる貨物、飛行機で運ばれる貨物、海外から来る人の手荷物、すべてが検査、審査の対象です。

私の所属する情報管理室は、港や空港の部署から、不審貨物情報を集め、検証し、必要に応じて厳重検査を依頼し、摘発につなげています。

全国税関はもとより、税務署、麻薬取締事務所、米軍関係機関等と連携をとって、日々摘発を目指している



情報

横浜税関調査部情報管理室調査官

小柳 育子 【平成14年II種行政】

不審貨物を見逃すな

ころです。

管轄税関内の貨物に不審な情報がある場合、まず情報管理室に連絡が入ります。これらの情報を必要な部署と共有し、いかに迅速に的確な検査、審査につなげるかが、摘発の鍵になります。このスピード感や緊張感、摘発されたときの達成感が、情報管理室の仕事の醍醐味だと私は思います。

また、摘発に繋がりそうでまだ繋がっていない情報が各部門から寄せられるので、この中から特に注意が必要な情報をピックアップし、深く調査し掘り下げることも、私たちの仕事です。自分の「おかしい」と思った感覚を信じて、じっくり調査できることも、当室の仕事の面白さであります。

情報管理室だけでなく、海上取締部門や検査部門には自らの手で摘発できる面白さが、審理部門には犯罪を立証できる面白さがあります。

高いモチベーションを持てる職場だと思いますので、興味のある方は、是非税関へ足を運んでみてください。

海港取締

函館税関小樽税関支署統括監視官
(取締第2部門担当) 付監視官

佐々木 健介 【平成15年III種行政】



One for All, All for One

私は函館税関小樽税関支署統括監視官部門に所属し、小樽港に入港する外国貿易船、クルーズ船を利用して入国する旅客や乗組員に対する密輸取締りに従事しています。

「国民の安全・安心の実現」という不変の使命を達成するために、海上保安庁などの関係機関との合同船内検査、不審な乗組員や訪船者がいないか港湾地区のパトロールや張込み、洋上で「瀬取り」と呼ばれる手口で不正薬物の受け渡しを行う不審船がないか監視艇に乗船し、日本海側海域の巡回を行うなど24時間365日、密輸取締りのプロフェッショナルとしての



自覚と誇りを持って業務を遂行しています。

近年、覚醒剤などの不正薬物の乱用や銃器による殺傷事件が発生するなど日常生活の安全に対する脅威が増加しており、海外からの流入を防ぐ“最

後の砦”の役割を担う税関の責務は重みを増すばかりです。

当支署においても、過去には外国人乗組員が身辺及び船室に隠匿した覚醒剤(約3キロ)や研削砥石に偽装した覚醒剤(約27キロ)密輸入事件の摘発があり、北海道においても密輸は対岸の火事ではありません。

99.9パーセントの善人と0.1パーセントの悪人を見極めるためには、地道な密輸情報の収集や傾向分析、外国人に対する職務質問や語学の能力向上、乗組員の挙動や僅かな表情の変化までも敏感に察知する観察力などが求められます。

生まれ育った北海道の治安を守るという強い使命感を持ち、子供の頃に憧れたヒーローのように「正義」を体現化できる税関の仕事は非常にやりがいを感じます。

社会情勢の変化に伴い悪質化、巧妙化、組織化する密輸事犯に対処するためには、若い世代の方ならではの視点、柔軟な発想や行動力が必要不可欠です。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



私が現在所属している調査部統括審理官部門は、不正薬物の密輸入、関税脱税等の様々な犯則事件の調査を行っています。

具体的な業務は、管轄する海空港等で税関に申告等された貨物(郵便物を含む)から不正薬物などが発見・摘発された場合、裁判官から発付される差押許可状などに基き貨物等を差し押さえ、さらに輸入者等について官公署又は公私の団体に対して照会、関係先に赴きその所在等を確認して犯則嫌疑者を特定し、共同調査機関である警察や麻薬取締部と共に関係先の捜索を行い事件の全容解明に努めています。犯則事件調査を進めるにあたり、テレビドラマで見る刑事のように、秘匿の張り込みや尾行等の行動確認や内偵調査を行い、犯則嫌疑者の取り調べや事件関係者から事情を聴取し、答弁の裏付け調査も行います。

私が関わった非常に印象的な事件の1つが、令和元年6月に静岡県南伊豆町で摘発した覚醒剤約1トンの密輸入事件です。

審理

東京税関調査部統括審理官
(検察第5部門担当) 付

溝口 拓弥 【平成22年III種行政】

誇りと使命感を持ち、 社会の安全・安心を実現する

これは国内における1度の押収量としては過去最大量であり、この事件の調査期間は着手から1年以上かかりました。関係者を調査するため、北海道から沖縄まで全国を飛び回りました。非常に警戒心の強かった関係者の行動確認はとても苦労しましたが、密輸に関与した実行犯を全員捕まえることが出来ました。

私たち税関職員は、水際で必ず密輸を阻止するという信念を持ち、税関としての誇りと使命感を持って、犯則調査をおこなっています。皆さんも誇りと強い使命感をもって私たちと一緒に働きませんか。安全・安心な社会の実現に向けて、共に働けることを楽しみにしています。





沖縄地区税関統括審査官
(通関総括第1部門)付審査官

佐藤 美紀 【平成15年Ⅱ種行政】

通 関

本質を見抜く力を磨く

私は、沖縄地区税関の通関総括第1部門に所属しています。通関に関する複雑な案件の調整、内外からの輸出入相談への対応や、報告書の作成などを担当しており、今の部門や実務を担当する通関部門に、大きな魅力とやりがいを感じています。

まず、通関とは、申告された輸出入貨物に係る審査や検査を実施し、許可を行うという業務です。輸入の場合は、関税等の税金が課され、その納付の確認後許可となります。また、貨物によっては、関税関係法令以外の手続きを経なければ輸出入の許可をすることができないものもあります。

従って、通関部門の職員には、申告が正しく行われているかを様々な角度から審査、検査するため数多くの高度な法律知識や商品学が求められます。

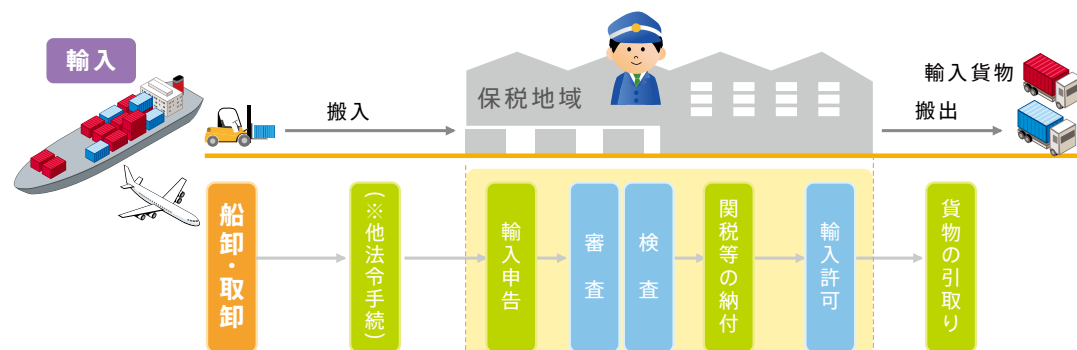
例えば、輸入申告のうち、関税率や税額が正しいかを審査するためには、関税分類(税番)と商品に関する知識が重要です。あらゆる輸入物品には税番と呼ばれる分類用の番号が振られており、税番がないのは、「人間」と「空気」くらいだといわれています。税番は、国際条約に基づき、種類、材料、成分、加工の度合いなどによって体系的に定められています。税番により関税率が変わることから、正しく分類されているかを判断するために、物を見る目が養われるのも通関部門の魅力の1つだと思います。

他にも、輸入消費税等の脱税のため偽装された金製品や、知的財産権を侵害する物品、巧妙に隠匿された社会悪物品を見破る客観的な目が必要です。私は、不正を見逃さない洞察力や仮説検証力を備え、本質を見抜く諸先輩方の研ぎ澄まされた叡智に触れ、感動し、その背中を追うべく自己研鑽に励む毎日を送っています。

海外と日本の接点で本質を追及し続ける税関という職場で、皆さんも一緒に働いてみませんか。



貨物到着から貨物引き取りまでの流れ



※他法令手続：貨物によっては、食品衛生法、植物防疫法、家畜伝染病予防法などの関税関係法令以外の手続きが必要になるものがあります。



事後調査

名古屋税関調査部特別関税調査官

(第5担当)付調査官

江崎 克洋 【平成19年Ⅱ種行政】

国際貿易の最先端を 肌で感じる職場

最先端ではどのような変化が起きているのか、肌で感じることができます。

専門知識が必要で、輸入者と対面する調査業務はハードルが高く感じるかもしれません。しかし、調査はグループで臨み、経験豊富な職員と共に調査を行うことで、徐々にスキルアップすることができます。また、効率的な調査を行うためのチームワークも必要で、各人が持つ知識から貿易取引を分析し、自分では気付かなかった着眼点が浮かび上がってくる点も面白いところです。

税関には他にも様々な専門分野があり、きっと自分を活かせる職場を見つけられると思います。このパンフレットを読んで、興味を持たれた皆さんが私たちと共に働く日をお待ちしています。



皆さんが就職活動で使う靴やスーツに外国から輸入されたものを使っている方も多いのではないのでしょうか。それらの原産国や関税について考えてみたことはありますか？

米国で生まれ育った牛を米国の工場で食肉加工したものの原産国は分かりやすいかと思いますが、しかし、イタリア製の皮革と中国製の靴底を使ってメキシコの工場で製造した靴の原産国となると少し悩みませんか？

2020年1月に日米貿易協定が発効したのは記憶に新しいかと思いますが、近年、日EU・EPAやTPP11といったいわゆるメガEPAというものが次々に発効しています。EPA等で優遇された税率を使って輸入するためには貨物の原産国、いわゆる国籍を決める必要があります。そしてその国籍を決めるルールが存在します。

私の所属する原産地部門では、このルールを適用しながら日々仕事をしています。例えば、地元の貿易会社の方からEPAを使って低い税率で輸入するためのルールを満たしてい

原 産 地

神戸税関業務部
首席原産地調査官付上席調査官

為澤 悟郎 【平成14年Ⅱ種行政】

あなたの「やりたい仕事」が きっと見つかる

るかという相談に回答しています。複雑な事案については、全国の出産地事案を総括・調整する部署であるEPA原産地センターや関税局と調整しながら対応します。また、EPA等を利用した輸入申告に対して事後的な調査を行うことにより適正な利用促進に努めています。

私は2002年に神戸税関に採用され、これまで神戸税関で9つの部署を経験し、東京税関や環境省へ出向するなど、他の税関の職員はもとより、財務省や他省庁、地方自治体の職員など様々な背景を持った方と仕事をする機会に恵まれました。税関では多種多様な業務があり、あなたが専門性を高めたい分野がきっと見つかるのではないのでしょうか。専門知識や語学に関する研修制度も充実していますのでやる気次第で可能性は無限大です。

税関職員の一員として皆さんと一緒に仕事できることを楽しみにしています！



東京税関総務部総括システム企画調整官付調査官
(大阪税関採用)

金田 崇史 【平成22年II種電気・電子・情報】

システム

税関業務をシステムで支える

私が所属している総括システム企画調整官は、税関における様々な電子情報処理システムの運用や開発業務を行っています。代表的なものにNACCS(輸出入・港湾関連情報処理システム)とよばれるシステムがあります。

NACCSは、入出港する船舶・航空機及び輸出入される貨物について、税関をはじめとする関係行政機関に対する申告・申請等手続き及び関連する民間業務を電子的に処理するシステムです。

私はこのNACCSや他システムについて、システム構築事業者や業務利用者など関係者との調整を行いながら、システムの改善・開発を行う業務を担当しています。

システムの改善・開発を行う業務の中で、特に注力して検討を進めているものにAIの活用があります。これは、近年、税関が進めている「AI等の新技術の活用」に関連し、システム面からAIを税関業務へ適用することで、業務の効率化や高度化を図るというものです。年々増え続ける船舶・航空機の入出港手続き及び輸出入される貨物の通関手続きに対応するため、税関ではNACCS等の税関システムを利用し税関業務の効率化を図ってきたところですが、最終的に職員が判断している部分もあり、その部分についてAIを取り入れることにより、更なる

業務の効率化に繋げていきたいと考えています。

システムの開発にあたっては、業務知識やITスキルがないと難しいのではと思われるかもしれませんが、周りのサポートや各種研修制度がありますので、不慣れな方でも安心して業務に取り組むことができます。

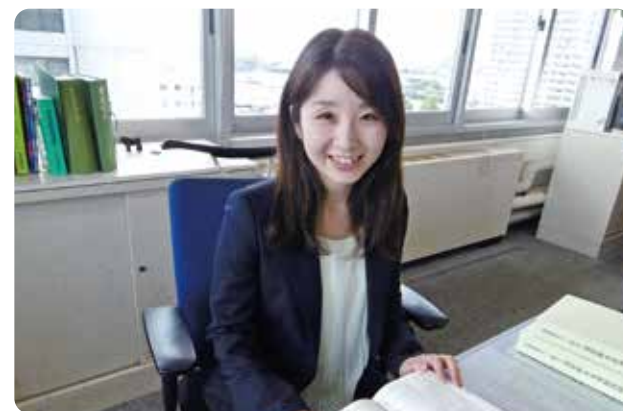
また、前述した先端技術への取り組みを含め、税関業務を通じて貿易の発展と安全な社会の実現に貢献できるシステムの開発や運用は他では経験できない、やりがいのある仕事です。皆さんが税関でご活躍されることを期待しています。



INACCSとは? NACCS(Nippon Automated Cargo and Port Consolidated System)は、入出港する船舶・航空機及び輸出入される貨物について、税関その他の関係行政機関に対する手続き及び関連する民間業務をオンラインで処理するシステムです。



※NVOCC(Non Vessel Operating Common Carrier) 自らは船舶などの輸送手段を保有せず、運送業者として輸出入者から貨物を受け、船会社を利用して海上運送を行う者。



AEO

名古屋税関業務部
認定事業者管理官付調査官

田中 優理華 【平成22年II種行政】

安全かつ円滑な
国際貿易を目指して

国際貿易のセキュリティ強化のために、税関が貨物に対する検査を増加させると、物流が停滞し、円滑な国際物流が阻害される要因になり兼ねません。では、国際貿易における安全を確保し、かつ円滑な貿易を促進するためにはどうすればよいのでしょうか。

その問題を解消するために導入されたのがAEO(Authorized Economic Operator)制度です。AEO制度は税関と民間企業とのパートナーシップに基づく取組みであり、事業者(民間企業)は自社が関与する物流において、法令遵守と取扱貨物の安全を確保する体制を整備することにより、税関からAEO事業者として認定を受けることができ、税関手続の簡素化、迅速化等の便宜が受けられます。それに対して税関は、よりリスクの高い貨物に対してマンパワーを投入することができ、効率的かつ効果的な取締りが可能となります。

また、各国のAEO制度との相互承認を進めており、物流の停滞が解消され、一層の安全かつ円滑な物流が期待されます。

私の所属する認定事業者管理官部門は、このAEO制度を担当しており、AEO事業者の認定や認定後の定期的な監査等を行っています。業務運営状況やセキュリティ対策の確認のために企業の倉庫等を訪問し、各企業が抱える課題等について共に検討し解決していくことを通じて、企業との信頼関係を築くこともこの業務の重要な役割です。企業の業種によって関係する法令が異なり、幅広い知識が求められるため、日々奮闘しています。

税関には様々な業務があります。どの業務も国民の生活に関わる重要な役割を担っており、困難に直面することもあります。豊富な研修や周囲のサポートがあるため心配はいりません。様々な業務に挑戦していく中で関心のある分野を見つけ、専門性を高めていけることは税関の魅力の1つだと思います。きっとあなたにとってのやりがいも見つかるはずです。



技術協力

大阪税関調査部情報管理室調査官

南雲 美絵 【平成13年III種行政】

途上国税関との
関係強化を図る

※筆者左から2番目

私の現在の主な職務は、密輸に関する情報の管理業務ですが、この職務と並行して「関税技術協力」という事業にも携わっております。皆さんは、関税技術協力をご存知でしょうか？

関税技術協力とは、政府開発援助(ODA)の一環であり、開発途上国の税関に対して日本が技術協力を行っている事業です。日本の税関には約150年の歴史があり、その積みあがった技術は、途上国の関税制度や税関組織を確立する際のヒントとなります。つまり、関税技術協力の主な目的は、世界の関税制度の調和や国際貿易の発展に貢献することにあります。

具体的実施例として一つ目には、途上国税関職員を本邦へ受け入れて研修を実施すること、二つ目には、本邦職員を専門家として途上国へ派遣し、研修や助言を行うことが挙げられます。

これら実施には、関税局・税関研修所及び各税関の職員

が任用されています。私は税関職員としてこの事業へ携わっており、主には受入研修の講師を担っています。職場には経験豊富な先輩方と同僚がおり、事業実施の際には良い研修ができるように「ONE TEAM(ワンチーム)」として前進しますので、不安や疑問を一人で抱え込む必要はありません。

関税技術協力では、各々の得意分野を発揮して団結することができると、良い結果に結びつくと実感しています。

少しでも興味を持たれた方、あなたの挑戦をお待ちしています。



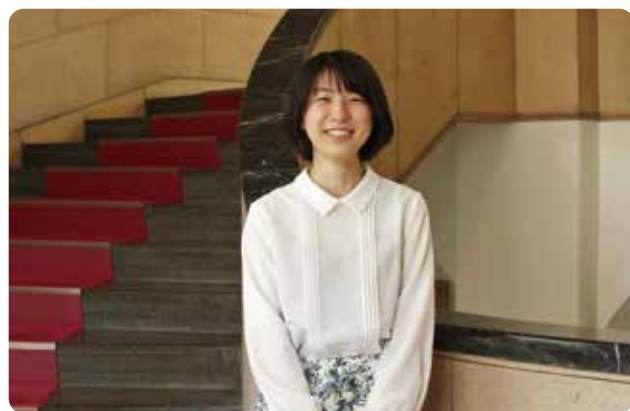
関税局

関税局関税課(第二参事官室)
調査官(大阪税関採用)
野口 芙由美 【平成22年II種行政】

国際協力で支える貿易円滑化

日本と海外を繋ぐ窓口である税関にとって国際協力は重要な仕事の一つです。日本税関は輸出入貨物の通関を迅速・適正に行うためさまざまな取組みを行っていますが、日本でいくらか円滑に手続が行われても、輸出入相手国の税関手続が著しく煩雑・不透明であったり長い時間がかかったりすると、真の貿易円滑化にはなりません。そこで日本税関としては、国際貿易の更なる発展や輸出入者のビジネス環境改善に資するため、WCO(世界税関機構)やWTO(世界貿易機関)による国際的枠組みに則った税関手続の調和・統一及び税関間の国際協力を進めています。

私が所属する第二参事官室では、途上国税関を対象とした国際協力(関税技術協力)の企画・立案を行っています。特に日本と結びつきの強いASEAN諸国の支援に



力を入れており、例えばミャンマー税関に対しては日本の電子通関システムNACCSを基にしたMACCSを2016年に導入し、通関手続の電子化を実現しました。現在もシステムの安定運用や利活用拡大のための支援を継続的に実施しています。システム構築と合せて通関手続・制度見直しや人材育成の支援も行い、ミャンマー税関の近代化や能力向上に貢献しています。

国際協力というただ相手国と仲良くすれば良いというイメージもありますが、国ごとに抱える実情や課題、人々のマインドが日本とは大きく異なり、期待されていた効果がなかなか現れないなど一筋縄ではいかない場合も少なくありません。一方、国が違っても各国の税関職員との間には、国際貿易の担い手である税関としての共通の使命遂行に向けた強い絆や連帯感のようなものがあります。このような、困難でもやりがいがある面白い税関の国際協力に力を発揮していただけの皆さまをぜひお待ちしております！

国際機関

世界税関機構(WCO)
テクニカル・アタッシュ(門司税関採用)
井上 祐輔 【平成17年II種行政】

世界で働くことのやりがいと責任

税関には、空港での手荷物検査、貨物の輸出入通関、麻薬探知犬ハンドラー、密輸薬物摘発時の広報など、多様な業務があります。それら様々な業務経験を重ねた後、希望する職員は、海外で働く機会を得ることもできます。世界税関機構(WCO)、海外の日本国大使館、JICA専門家、JETRO事務所など海外の様々な場所で、何人もの日本税関職員が勤務しています。

私は、現在、その中の一つベルギーにあるWCO本部で勤務しています。税関の唯一の国際機関であるWCOでは、御厨事務総局長をはじめ、日本人職員のほか、世界各国の税関出身者などが働いています。私は、主に知的財産侵害品の水際取締りに関係する仕事に就き、世界中の税関がコピー商品を適切かつ確実に取締りできるようにガイドラインの策定、また現地を直接訪問し、技術協力活動をしています。

例えば、ガイドラインについては、183ヶ国のWCOメンバー税関が今どのようにコピー商品を取り締まっているのか、



などの情報を収集し、実際に意見を聞きながら、規模や資金に関わらず、広く多くの税関が同じレベルの取締を実現できるように内容を考え、策定します。また、技術協力活動については、訪問国税関の職員向けに、ワークショップを開催し、国際法の座学、ケーススタディ、関係する法執行機関や民間企業などとの意見交換など、コピー商品の水際取締能力の向上を支援しています。

税関の唯一の国際機関WCOで働くことは、世界中の税関に対して、模範となるべく、専門知識を有し、正しい行動を取らなければならない「責任」が伴います。ただ、同時に、日本を飛び出し、海外で働くことは、非常に「やりがい」を感じるとともに、刺激的で楽しい毎日です。税関職員として、大変貴重な経験を積んでいることは間違いありません。皆さんも、将来の海外勤務を見据えて、税関で一緒に働いて行きませんか？



北朝鮮による核開発やミサイル発射、繰り返されるテロ事件など、日本を取り巻く安全保障環境は厳しさを増しています。

では、皆さんはご存じですか？武器そのものだけでなく、最先端なモノから私達の身の回りにあるモノまでもが、核開発の懸念がある国やテロ組織などに渡った場合、核開発やミサイル、爆発装置などに軍事転用され、国際的な平和が脅かされる危険性があることを……。これらを未然に防ぐためには、国際協調のもと輸出に規制をかける必要があります。

日本では、外国為替及び外国貿易法(通称「外為法(がいのめほう)」)において、武器や軍事転用が可能なモノを輸出する場合、輸出者は経済産業大臣から許可を受ける必要があります。関税法において、輸出申告の際、税関に対しその許可を証明し、審査を受け



我が国の知的財産戦略には、未来に目指すべき社会の姿やその実現に向けた施策の方向性などが示されていますが、重点的に取り組む施策の一つとして「模倣品・海賊版対策の強化」があります。これは、模倣品・海賊版がまかり通れば、未来ある才能を有する創作者等の事業やその後継者育成が脅かされる懸念があるためです。

税関は、模倣品・海賊版などの知的財産侵害物品を水際で差止めることなどを通じて、この戦略の一翼を担っています。

その役割を果たすには関係省庁との連携が不可欠ですが、その代表が、「特許権」や「商標権」などの知的財産権を付与する機関である特許庁と言えます。それというのは、知的財産の保有者による税関への知的財産侵害物品の差止申立ての多くが、これらの知的財産権に基づくためです。税関と特許庁の人事交流には、このような知財戦略における両組織の協力関係が背景にあると言えるでしょう。

私は、2019年7月から特許庁商標課に出向し、商標審査事務

経済産業省

経済産業省貿易経済協力局貿易管理部
安全保障貿易管理課安全保障貿易検査官(東京税関採用)
佐々木 尊 【平成14年III種行政】

国際的な平和のために

なければならないと定めています。この輸出規制を厳格に執行するためには、経済産業省として、税関を含む関係機関との連携と輸出者の理解が必要不可欠となります。

私は経済産業省において、税関とのパイプ役として、税関からの照会対応、情報交換及び説明会などを行い、不正輸出阻止のために税関との緊密な連携を図るほか、違反の疑いがある輸出者に対する立入検査や違反した輸出者に対する再発防止に向けた審査・指導などを行い、輸出者の理解が高まるよう努めています。とくに、税関との連携では、一つのミスが国際的な平和を脅かすことにも繋がる可能性があるため、日々責任感と使命感をもって業務に取り組んでいます。

出向先から見る税関は、水際の最前線で不正に立ちほだかり、日本を含む国際的な平和と安全の維持に大きく貢献していることがよく分かります。私はその税関の姿を誇りに思いつつ、国際貢献の一端を担うことができる税関業務の魅力を改めて感じています。

特許庁

特許庁審査業務部商標課審査推進企画班
審査推進係長(函館税関採用)
斎藤 義和 【平成20年II種化学】

国の知財戦略の一翼を担い 未来を創る税関

の効率化、迅速化に向けた企画運営に携わっています。この仕事をする上で「商標審査官がいかに審査をしているか」という知識は欠かせません。そのため、出向してからは「商標審査基準」など商標審査について学習する日々です。それで身に付くのはあくまで商標審査のノウハウですが、税関における知的財産侵害物品の水際取締りにも活用できそうな視点も多く、税関の現場に持ち帰り還元したいと感じています。

「税関とは異なるフィールドで学ぶ新しい事柄でも税関の業務に活用できる」

出向して改めてこのことを知り、税関の仕事の広さ、深さを再認識すると同時に、他組織と連携して社会に貢献する税関の存在を実感しています。



技術系区分採用

横浜税関業務部統括分析官付

原山 麻奈美 【平成29年一般職(大卒程度)化学】

●現在の仕事について教えてください。

私が所属する分析部門では、輸入された貨物の分析を行っています。薬や食品、金属など、その対象は様々です。

分析部門の行う分析は、主に2つあります。1つ目は、「適正かつ公平な関税等の徴収」のための分析です。外国から日本に貨物が輸入される際には、品目ごとに関税が課せられます。見た目が似ているものであっても、構成する成分やその比率、物性などの違いによって、税率が大きく異なることがあります。そのため、適正な関税率を決定するために正確な分析が必要になります。

2つ目は、「安全・安心な社会の実現」のための分析です。通関部門などで不正薬物と疑わしきものが発見された場合、分析依頼がなされます。もちろん、見た目だけでは、それが違法かどうかを判断することはできません。科学的な分析を行うことで初めて、その貨物が覚醒剤、麻薬、指定薬物といった輸入してはならないものであると判断することができます。

●自分の専門分野がどのように業務に活かされていますか。

税関の業務内容は多岐にわたりますが、特に、分析部門に



おいては高い専門性を求められます。また、分析部門では、様々な薬品、溶剤、分析機器を用いて分析を行っています。これらの扱い、原理を理解する際や分析結果を解析する際に、自身の専門分野が活かされていると感じます。

●受験者の方々へメッセージ。

皆さんの中には、大学時代に分析機器をほとんど使ったことがないという方もいらっしゃるかもしれません。しかし、科学の基礎となる部分は変わりません。分析機器をブラックボックスとせず、解析を行うためには、科学の知識・技術・経験が必要になります。また、分析の対象は広範囲であるため、新しい分野についても学ぶことができます。これまでに培ってきた経験と、新たな専門性を武器に、日本を支えてみませんか。



空港旅具(当直勤務)

函館税関千歳税関支署統括監視官
(第2部門担当)付

関 菜摘

【平成31年一般職(大卒程度)行政】



初めは、海外の税関を取り上げたテレビ番組を見て、密輸に対する水際取締りに興味を持ちました。また、税関は業務が多様であり、年齢を重ねても新しいことに挑戦し続けることができるところに魅力を感じ、志望しました。私の所属する函館税関千歳税関支署は若手職員が多く、新人職員でも不正薬物等の密輸事件に携わるチャンスがたくさんあります。摘発された不正薬物を目の前にした時は、不正薬物の日本への流入を防ぐことができるのは税関職員だけなんだという強い使命感が湧き上がりました。

1
週
間
の
働
き
方

(月)当直 入国旅客手荷物検査
(火)明け 業務終了後、同期や先輩と食事
(水)休日 映画鑑賞
(木)休日 買い物
(金)当直 入国旅客手荷物検査
(土)明け 業務終了後、休養
(日)日勤 入国旅客手荷物検査

1日の働き方

10:00 出勤後、部門ミーティングで当日の取締方針や周知事項を共有します。その後、前日の当直部門から引き継ぎを受け、仕事の準備を整えます。

10:15 入国検査場で旅客に対する手荷物検査を行います。日々摘発情報等を収集して、不正薬物等の摘発に向けて的を絞った効率的な検査を行うよう常に心掛けています。

15:00 空港では、巧みな密輸手口に対応するために、様々な検査機器を活用して手荷物検査を行います。X線検査装置では荷物の中に隠しているものがないかを短い時間でより詳しく確認することができます。

23:15 翌朝からの業務のため仮眠室で休みます。

4:00 起床後は窓口業務を担当し、電話応対や書類の受理を行います。

10:00 次の当直部門への業務引き継ぎ後、部門ミーティングを行い、当直業務は終了です。



海港取締(当直勤務)

大阪税関監視部統括監視官
(取締・通関部門担当)付

大塚 真也

【平成31年一般職(高卒者)事務】



官庁訪問の業務説明会に参加した際、「水際の最前線に立ち、麻薬や金を摘発した時は今でも忘れられないくらい嬉しかった。」という先輩職員の熱いお話を聞き、私もその一員として社会に貢献したいと思い税関を志望しました。

私が所属する監視部取締通関部門では、職員が一丸となって社会悪物品の摘発を目指しており、その海港取締業務にやりがいを感じます。海上においては、一度に大量の覚醒剤等不正薬物の密輸入が実行されます。これらを水際で阻止し、日本の安全な暮らしを守ることが私たちの使命です。官庁訪問で抱いた気持ちを胸に日々研鑽を重ね、業務に取り組んでいます。

1
週
間
の
働
き
方

(月)当直：海上巡回・受付業務
(火)明け：同期と飲み会
(水)休日：税関バスケットボールの試合
(木)当直：船内検査・検問
(金)明け：同期や友人と食事
(土)休日：同期や友人とショッピング
(日)当直：陸上巡回・受付業務

1日の働き方

8:30 出勤後、当日の勤務配置、入港船舶や引継ぎ事項等を確認します。朝の点呼を行い、伝達事項や注意喚起等が伝えられます。

9:00 午前中は監視艇で港湾地区の巡回を行います。外国貿易船に近づく不審な小型船舶や不審浮遊物等の発見に努めます。

13:00 午後は船内検査です。外国貿易船に乗り込み乗組員の居室や機関場などに麻薬等が隠されていないか検査をします。

17:00 夜間は主に業者の対応を行う受付業務です。外国貿易船等の入出港管理や申請書類等の審査の他、下船乗組員等の携帯品検査を行います。

00:00 一日の締めくくりである取締業務日報の作成や申請書類等の整理を行います。業務を終えたら仮眠室で休みます。起床後、取締車両の点検を行い、車両で港湾地区の巡回や検問等を行います。

9:00 次の当直班に業務を引き継いだ後、終了ミーティングで今回の当直の反省点や伝達事項の確認を行い、業務終了です。



係長級選考採用

東京税関総務部

総括システム企画調整官付調査官

内田 隼人 【平成29年度係長級選考採用】

●現在の仕事について教えてください。

私の所属する総括システム企画調整官部門は、NACCS(輸出入・港湾関連情報処理システム)を代表とした税関関連システムについて、ハードウェアの導入検討からソフトウェアの仕様検討、システム運用及び問合せ対応までの業務を扱っています。税関業務のほとんどがシステムを介して行われる為、税関の3つの使命の内「適正かつ公正な関税等の徴収」「安心・安全な社会」の実現も勿論のことですが、「貿易の円滑化」を実現する点において特に重要な部署になります。

●自分の専門分野がどのように業務に活かされていますか。

税関職員になる前は、システム開発を請負う会社に勤めていました。前職で得た経験と現在の部署における仕事は共通



する部分が多く、システム仕様の検討から納品物チェックに至るまで業務の様々な箇所で役立っています。特に開発請負会社との打合せの場では、前職との立場の違いを活かし気付きがあれは積極的に発言をしています。他にも、



税関業務の事務について効率化が図れそうな部分があれば、上司にツール開発等の相談を行い、改善を進めています。最近ではAI等先端技術の導入も推進されているため、これまでの経験を踏まえより一層貢献していきたいと考えています。

●受験者の方々へメッセージ。

税関は、激しい国際物流環境の変化に対応するため、職員一人一人の意見を尊重し大切に作る風土があります。また、仕事の成果が国民生活を守ることと直結する点は、民間企業等では得難いやりがいだと感じています。キャリアの面においても、税関業務というと空港での携帯品の検査や輸出入貨物の通関のイメージが強かったのですが、当初想像していた以上に業務の幅が広く、誰でも自分に合ったキャリアパスを何通りか考えることができると思います。その為、専門的なキャリアだけでなく様々なキャリアの人が活躍できる職場でもあると思います。あなたのキャリアを存分に活かせるフィールドがここにはあります。

麻薬探知犬（日勤勤務）

名古屋税関監視部
麻薬探知犬管理室

間宮 桃香

【平成30年一般職(大卒程度)行政】



私は大学在学中に公安系公務員に興味を持ち職種を調べ、税関の存在を知りました。税関の業務は国際的で幅広く、中でも麻薬探知犬による取締りに魅力を感じたため志望しました。麻薬探知犬のハンドラーは、犬の嗅覚を頼りに、不正薬物等の密輸入を水際で阻止します。犬には言葉が通じず苦労することもあります。共に良い検査ができた時の達成感は格別です。日々パートナーである担当犬と摘発に臨むことにやりがいを感じています。

1週間の働き方

(月) 日勤：国際郵便物検査、航空貨物検査、旅客預け荷物検査
(火) 日勤：旅客預け荷物検査、国際郵便物検査
(水) 日勤：国際郵便物検査、航空貨物検査、旅客預け荷物検査
(木) 日勤：旅客預け荷物検査、国際郵便物検査
(金) 日勤：国際郵便物検査、航空貨物検査、旅客預け荷物検査
(土) 休日：自宅で休養、ヨガ
(日) 休日：友人との食事

1日の働き方

7:30 出勤前の準備を行った後、犬の排便、グルーミング、健康管理を行います。



9:00 中部国際郵便局で、海外から届く郵便物の検査を行います。犬の状態は毎日違うため、状態に合わせて声のトーンを変えるなど工夫を凝らし、犬のやる気を引き出します。

11:00 麻薬探知犬管理センターで、犬の能力維持向上訓練を行います。不正薬物等の摘発には日々の訓練が欠かせません。先輩からアドバイスを受けながら訓練に励みます。



14:00 中部国際空港で、入国する旅客が預けた荷物の検査を行います。犬の僅かな動きの違いに気づくことが摘発につながるため、集中して検査を行います。

16:00 犬舎に戻り、犬の給餌、排便、グルーミングを行います。



17:00 その日の検査状況、犬の体調、訓練状況等を記録します。

事後調査（日勤勤務）

門司税関調査部統括調査官
(調査第2部門担当) 付

栗野 貴輝

【平成27年一般職(大卒程度)機械】



国際的な仕事に興味があったことに加え、税関では幅広い分野の業務があり、様々な業務を経験できる点に惹かれたことから、税関を志望しました。

税関の業務は、どれも国民生活に関わる重要で責任ある仕事で、簡単ではありません。それ故に、何かを成し遂げた時の達成感はとて大きく、成長できる職場であると感じています。常に新鮮な気持ちでチャレンジしていきたい方には、ピッタリの職場だと思います。

1週間の働き方

(月) 日勤：準備調査
(火) 日勤：実地調査
(水) 日勤：実地調査
(木) 日勤：事後処理
(金) 日勤：事後処理
(土) 休日：旅行
(日) 休日：自宅でリフレッシュ

1日の働き方

8:30 実地調査当日は、必要な資料等を準備し、調査時の留意事項や着眼点などを確認します。



9:30 調査先へ出発します。



10:00 輸入事後調査は、貨物の通関後に、輸入申告が法令に従い適正に行われたか、税金が過不足なく納められているかを確認するものです。調査先に到着したら名刺交換を行った後、輸入者から取引の概要を聴取することで、確認すべきポイントを絞り込んでいきます。



13:00 事前に準備した資料や聴取した取引の概要をもとに、輸入取引に関する書類や会計帳簿等を精査していきます。書類を精査していく中で、疑問点があれば、輸入者に質問したり、資料を要求したりして、輸入申告が適正に行われたか確認していきます。



17:00 事務所に戻り、収集した資料等を整理して業務終了です。

検査大型X線（日勤勤務）

神戸税関監視部統括監視官
(検査第2部門担当) 付

有田 享平

【平成31年一般職(大卒程度)行政】



税関の業務説明会に参加し、不正薬物やテロ関連物品等の密輸を水際で取り締まるという業務に興味を持ったのがきっかけで、その他にも幅広い業務があることを知り、新しいことにチャレンジできる環境に魅力を感じ、志望しました。

私が所属する監視部検査部門では、主に輸入される海上貨物を対象に大型X線装置を用いた検査を行っています。画像の解析方法等覚えることが多く大変な時もありますが、検査したコンテナ内から大量の不正薬物が発見された時は、やりがいと達成感を強く感じました。

1週間の働き方

(月) 日勤：画像解析、貨物検査
(火) 日勤：画像解析、貨物検査
(水) 日勤：画像解析、貨物検査
(木) 日勤：画像解析、貨物検査
(金) 日勤：画像解析、貨物検査
(土) 休日：友人と飲み会
(日) 休日：映画鑑賞

1日の働き方

8:30 出勤後、ミーティングへ参加し当日の検査予定や検査の際の注意点、伝達事項等を部門全体で共有します。



9:00 検査を開始します。映し出される画像を解析し、隠匿されているものが無いかを判断します。ここで見逃してしまうと薬物等の国内への侵入を許してしまうため、日々緊張感を持ってこの画像解析に励んでいます。



16:30 貨物を直接確認する開披検査の際は、担当する職員同士で打ち合わせを行い、重点的に検査するポイントやどの検査機器が有効か等を共有します。



検査場では、事前の打ち合わせに基づき、不正薬物等の痕跡を感知する装置や金属探知機等の機器を活用します。

17:00 事務所へ戻り、検査結果の報告や後片付けを行います。



検査機器のシャットダウンや書類の整理をして、本日の業務は終了です。

外郵（日勤勤務）

横浜税関川崎外郵出張所統括審査官
(通関第7部門担当) 付

小川 新菜

【平成30年一般職(高卒者)事務】



業務説明会で、「税関では水際での密輸阻止や適正な関税等の徴収といった仕事をしている」と説明を受け、水際の最前線に立って仕事を行うことに使命感とやりがいを感じられると思い税関を志望しました。

日々到着する膨大な国際郵便物に対し、不正薬物等の密輸阻止のための検査や課税業務を行っています。何千とある国際郵便物の中から不正薬物等を見つけるのは困難を極めますが、初めて自分で摘発したときはとてもやりがいを感じ、「国民の安全を水際で守る」という税関の使命を大いに実感できる瞬間でした。

1週間の働き方

(月) 日勤：検査・課税処理
(火) 日勤：検査・課税処理
(水) 日勤：書類の受理・他法令該当郵便物の処理
(木) 日勤：検査・課税処理
(金) 日勤：検査・課税処理
(土) 休日：映画鑑賞・カフェ巡り
(日) 休日：ジムでトレーニング

1日の働き方

8:30 出勤後、業務メールの確認やその日の担当業務を確認します。また、ミーティングではどのような郵便物に着眼点を置いて検査していくかを打ち合わせし、摘発に向けて気持ちを高めます。



9:15 日本郵便様から提示された郵便物に対して一次選定を行います。一次選定で検査が必要であると判断した郵便物は開披検査を行い、より重点的に検査を行っていきます。



13:00 引き続き、郵便物の開披検査を行い、内容品に応じたX線検査装置等の検査手法を用いながら検査を行っていきます。不審点を感じた際は、その疑問が晴れるまで粘り強く検査を行うことが不正薬物等の摘発につながると考えながら、日々検査に励んでいます。また、一次選定で課税扱いとなった郵便物の課税処理も行います。



16:45 検査場から事務室に戻り、当日の部門内での開披個数・課税処理件数等を集計して、一日の業務は終了です。

希望に満ちた皆さんへ
安全・安心な社会の
実現のために



未来への玄関口

関税局調査課長より

福田 敏行 【昭和61年Ⅱ種行政】

税関と聞いて皆さんが思い浮かべるのは、海外旅行から帰国した際の手荷物（携帯品）の検査ではないでしょうか。この携帯品の検査は、税関の「旅具部門」が行っていますが、税関の業務は非常に幅広く、輸出入貨物について申告書を審査し輸出入の許可を行う「通関部門」、貨物の輸出入の許可後に輸出入者のもとに赴いて申告が適正に行われていたかを調査する「事後調査部門」、覚醒剤をはじめとする不正薬物等の密輸入事件や関税等の脱税など関税法違反事件を調査する「審理部門」、外国税関当局との情報交換や関税法違反事件の摘発に結びつく情報の収集、分析等を行う「情報部門」など、多岐にわたっています。

また、財務省関税局では、各税関が行う業務の総合調整や関税政策・税関行政の企画・立案、EPA等の国際交渉などを行っており、さらには、WCO（世界税関機構）といった国際機関や政府関係機関など海外で活躍している職員や他省庁で活躍している職員も多数います。

このような様々な業務を通じて、税関の3つの使命である「安全・安心な社会の実現」、「適正かつ公平な関税等の賦課徴収」、「貿易円滑化の推進」に取り組んでいるのが関税局・税関です。

私は、2019年7月から関税局調査課に所属していますが、調査課では、事後調査部門、審理部門、情報部門等、各税関の調査部が行う業務の総合調整やこれらの業務を的確かつ円

滑に行うために必要な政策の企画・立案等を行い、「安全・安心な社会の実現」、「適正かつ公平な関税等の賦課徴収」に取り組んでいます。

2019年の全国の税関における不正薬物全体の押収量は史上初めて3トンを超え、特に覚醒剤は史上初めて2.5トンを超えるとともに4年連続で1トンを超えるなど、我が国への不正薬物の流入は極めて深刻な状況となっています。また、近年、金の密輸入による消費税の脱税が社会問題となっています。各税関の審理部門では、警察などの関係機関と連携し、日々、覚醒剤をはじめとした不正薬物や金などの密輸入の摘発に努めていますが、これらの密輸入を水際で阻止するための実効ある対策を検討し策定することは関税局調査課の重要な業務の一つです。

税関は、1872年（明治5年）に「税関」と呼称が統一されて以来、150年近い歴史と伝統を有し、この間、我が国と諸外国との接点にあって、貿易秩序の維持に努め、我が国経済の健全な発展に大きく貢献してきました。これは、税関が常に時代の変化やその時々ニーズに的確に対応してきたことの証といえます。多岐にわたる業務を行っている税関には、皆さんの能力を十分に発揮できる分野が必ずあると確信しています。希望に満ちた皆さんとともに、税関職員として一緒に働ける日を迎えることができることを楽しみにしています。



PROFILE

昭和61年	4月	東京税関総務部人事課採用	
平成22年	7月	関税局関税課課長補佐	
平成23年	7月	関税局業務課課長補佐	
平成26年	7月	関税局関税課税関調査室長	
平成29年	7月	函館税関業務部長	
平成30年	7月	門司税関業務部長	
令和元年	7月	関税局調査課長	（現在に至る）

沖縄地区税関那覇空港税関支署長より

高野 三知恵 【昭和56年初級行政A】

いま、このパンフレットを手にしている皆さんにとって、「税関」とはいったいどういうイメージをお持ちでしょうか？

皆さんも海外旅行へ行く機会があると思いますが、旅行者の方々が税関と聞いてまずイメージするのは、空港で入国する旅客の荷物の検査を行っている職員ではないでしょうか。その一方で、税関が行っているその他の業務や、その役割などについてはあまりよく分からないというのが正直なところではないかと思います。

皆さんには、このパンフレットを通じて税関という職場をより身近に感じていただければ幸いです。

税関は、その名の通り、輸入される貨物に課される関税や消費税等を徴収する「税」に関する仕事と、輸出入される貨物を取り締まる「関」に関する仕事を中心に、これらに関係する様々な業務を行っています。

私が所属する那覇空港税関支署は、まさに多くの皆さんがイメージする税関そのものではないかと思います。沖縄にとって観光は大きな産業の一つであり、2020年3月には那覇空港第2滑走路の供用も開始されるなど訪日外国人の増加に対応するとともに、アジアとの玄関口として24時間通関可能な国際物流ハブ機能を整えています。ここでは主に航空機を利用して出入国する旅客に対して携帯品の検査を行い、不正な物品の密輸入を取締ったり、輸入される貨物の関税等の徴収といった業務を行っています。それ以外にもいろんな業務を行っています。

全国には9つの税関があります。それぞれの税関には総務部、監視部、業務部、調査部の4つの部、また全国の主な空港や港に支署、出張所が設置されており、それらが連携、協力して業務を遂行しています。

業務部では主に輸出入貨物の通関審査や関税などの



税金の徴収、監視部では旅客や船舶乗組員などに対する取締りや最新の取締機器を使用した貨物検査、調査部では密輸情報の収集・分析、犯則調査や事件処理、輸入後に貨物の納税額を調査する事後調査など多様な業務を行っています。

また、世界各国の税関との間で行われる情報交換や、諸外国の税関に対する技術的な支援も重要な役割となっています。

このように幅広い業務を行っている税関には、皆さんの能力を存分に発揮できる分野が数多くあり、研修制度も充実していますから知識を深めながら専門性を高めていくこともできるやりがいのある職場です。国家公務員を目指す皆さんが税関職員として私たちと共に安全・安心な社会の実現のために力を発揮されることを期待します。

PROFILE

昭和56年	4月	大阪税関総務部人事課採用	
平成24年	7月	大阪税関調査部統括調査官（調査第4部門担当）	
平成26年	7月	大阪税関総務部税関監察官	
平成28年	7月	大阪税関総務部厚生管理官	
平成29年	7月	大阪税関総務部首席税関監察官	
平成30年	7月	大阪税関南港出張所次長	
令和元年	7月	沖縄地区税関那覇空港税関支署長	（現在に至る）



様々な研修を通して、 スペシャリストを育成。

税関では、職員のキャリアパスに応じて、税関行政全般に関する知識や技能等の修得、業務遂行能力の向上等を図る研修制度が充実しています。

◆総合研修

研修制度



① 新規採用職員研修

税関に採用されると、税関で仕事をする上で必要な知識、技能等の基本的な事項を修得するとともに、公務員、税関職員としての自覚を身に付けることを目的とした新規採用職員研修(以下「採用研修」という。)を受講することになります。採用研修は、全国の税関で採用された職員全員が千葉県柏市にある財務省税関研修所に入所し、一般職(大卒程度)であれば約2ヶ月半、一般職(高卒者)であれば約5ヶ月半、共に学び、生活することとなります。

研修内容

研修期間

一般職(大卒程度) 4～6月中旬(約2ヶ月半)予定
一般職(高卒者) 4～9月中旬(約5ヶ月半)予定

研修カリキュラム

■専門科目

・税関実務
監視取締、旅具通関、通関手続、事後調査、犯則調査等
・税関関連業務
他法令手続、国際テロ対策、麻薬取締、銃砲取締等
・貿易実務
・簿記
・NACCS業務等

■一般科目

・行政関係法令
・公務員法
・英会話等
■実技科目
・武道
柔道、剣道、合気道(一般職女性のみ※)
※ 大卒程度
・職場実習等

② 中等科研修

採用後の在職年数が、一般職(大卒程度)であれば4年、一般職(高卒者)であれば8年経過した職員は、税関行政全般に関する知識及び技能を修得することを目的とした中等科研修を、財務省税関研修所で受講します。

③ 高等科研修

係長相当職に任用後1年以上経過した職員のうち、勤務成績が良好な職員は、税関行政全般に関する高度な知識及びその応用能力を修得するとともに、幅広い視野、適格な判断力等を身に付け、業務遂行能力の向上を目的とした高等科研修を、財務省税関研修所で受講します。(選抜制)

◆専門研修

高度な専門知識・技能を有する職員を育成するために、さまざまな研修を実施しています。

○専門事務/取締技法、品目分類、原産地規則、関税評価、知的財産、事後調査、犯則調査、関税技術協力等の各分野において必要な専門知識及び技能の修得や専門家の育成を行います。

○語学/英語、中国語、韓国語、ロシア語の外国語能力を修得するため、専門の外国語教育機関による研修を行います。

また、職員の語学レベルに応じて初級から上級まで用意されています。

○その他/大学院へ派遣する研修、総務省、国税庁、検察庁、警察庁等が主催する研修 etc

◆管理者研修

それぞれの役職(係長級、課長補佐級、課長級)ごとに、管理者としての能力の向上のため管理者研修が行われます。また、女性職員を対象としたキャリアデザイン研修も行われています。



① 税関研修所外観
② 採用研修では敬礼等の基本動作の習得も行います。
③ 研修中は旅具通関等のロールプレイングも行います。
④ 講義風景



新規採用 職員研修

長崎税関監視部統括監視官
(第1部門担当)付

徳永 亜理沙 【平成31年一般職(大卒程度)行政】

税関では、新規採用職員を対象とする研修があります。入関するとすぐに全国の同期が千葉県柏市にある財務省税関研修所に集まり、普通科研修(大卒程度)は約2ヶ月半、基礎科研修(高卒者)は約5ヶ月半、税関で働く上で必要な知識や技能を学びます。

私は、水際で日本の安全を守るという税関の業務に憧れを抱き、入関することを志望しました。しかし、何の知識も技能もない私が税関で働くことができるのかという大きな不安があり、また、実際に自分が働く姿をイメージすることができずにいました。

このような中、新規採用職員研修に参加し、監視取締業務や旅具通関業務をはじめとする税関業務についての講義や語学、貿易実務に関する講義等、幅広い講義を受講し、知識を身に付けることができました。また、実際の現場を想定した海港取締や空港旅具のロールプレイングや職場見学もあり、自分が配属された後にどのような仕事をするのかイメージができるようになり、税関で働くことへの不安が解消されていきました。

研修は集団生活のため、当然規律やルールを守って生活す



ることが求められます。研修が始まったばかりの頃は、慣れない環境や厳しいご指導に戸惑いを感じることもありましたが、この2ヶ月半の研修生活のおかげで、社会人としての良識と、公務員、税関職員としての自覚を身に付けることができました。また、全国の同期との繋がりができ、各税関に配属された後も連絡を取り合い、研修が終わった今も交流が続いています。ともに学んだ同期が全国で頑張っていると思うと私も仕事へのモチベーションが上がりますし、同期の存在は仕事をする上で大きな励みになっています。この新規採用職員研修の経験が、これから税関で働くにあたっての糧となり、大きな財産になると思います。

語学研修

沖縄地区税関那覇空港税関支署統括監視官
(旅具部門)付

安部 慎一郎 【平成29年一般職(高卒者)事務】

私が所属している那覇空港税関支署統括監視官(旅具部門)は、日本を訪れる旅客等に対して、不正薬物等の社会悪物品の摘発を目的とした携帯品検査を行うことを主な業務としており、様々な国籍の方と関わることの多い部門です。

私が受講した「中国語委託研修」は、民間の語学学校で中国語を学ぶというものでした。

私は入関以前には、中国語を学んだ経験がなく、また、学生時代も語学は苦手な部類であったため、当初は講義についていけるだろうかという不安がありましたが、講義内容は発音等の基礎から教えていただけというものであり、また、旅客の検査で頻繁に使用するフレーズを重点的に教えてもらえるといった効率的な内容であったため、語学に苦手意識のあった私でも少しずつではありますが、着実に語学力を向上させていくことができました。



2019年の国別訪日外客数では、上位5ヶ国の中に中国・台湾・香港が含まれており、



沖縄にも同地域からの旅客が多く訪れます。そのため、業務において中国語を使用することが多々あり、研修で覚えたフレーズ等を利用することで、旅客に対する検査が研修受講前よりも円滑に行えるようになりました。

税関では、中国語の他にも、英語や韓国語などといった多様な語学研修を受講することが可能です。もし「税関の業務に興味はあるが、語学にはあまり自信がない」と不安に感じていても全く心配する必要はありませんので、ぜひ税関職員として共に日本の安全を守っていきましょう！

育児時間

長崎税関業務部管理課許可係長

東木 知美 【平成18年11種行政】



私は、2019年の4月から業務部管理課許可係で勤務しており、ちょうど1年目が終わったところです。許可係の仕事は、海外から貨物を輸入する際に輸入者から提出される輸入申告書(納税申告書)について、内容を確認し輸入の許可を出すことです。そのほか、税関が徴収する手数料などの集計や報告を行っています。また、私生活においては、夫、5歳の娘、3歳の息子と4人で生活しており、日々育児に奮闘中です。

勤務状況についてですが、朝は8時半に通常出勤して、夕方は、育児時間制度を利用することで16時に業務を終了し1時間早く帰宅しています。勤務時間に制約があるため、日頃からタイムスケジュールを意識して勤務していますが、突発的な業務で当日中に処理しなければならない

ことも時々発生してしまいます。そのような場合でも、上司や同僚が早く業務を引き受けてくださり、子供が待つ保育園へ向かうことが出来ています。これも両立支援制度が整っている職場であること、そして制度があるだけでなく実際に制度を利用できる環境作りに配慮してくれる上司や同僚のお陰だと思います。



育児と仕事が両立できる環境の中で、充実した日々を送ることができる税関は魅力的な職場だと思います。



1日の流れ

One day schedule



終業
通常は17:00が定時退庁のところ、育児時間制度を利用し16:00に仕事を切り上げます。



大急ぎで家事を済ませ、子供と夕食を取ります。

7:15

「早く迎えに来るね」、と保育園へ子供を送ります。

8:30

始業
朝は通常の勤務時間に出勤します。

16:00

保育園へ子供を迎えに行き、手をつないで帰宅します。

17:00

18:00

仕事と子育ての両立支援

●…男性対象 ●…女性対象 ●…男女対象



採用等に関するQ & A

Q1

語学力はどの程度必要ですか？

A

税関は外国との貿易に携っていますので、多少の語学力は必要です。税関で特に力を入れている語学は、英語、中国語、韓国語、ロシア語であり、語学力はあるにこしたことはありません。しかし、税関では採用研修をはじめ、レベルに応じた様々な研修がありますので、努力次第で十分に業務を遂行しうる語学力を身に付けることができます。

Q2

税関では技術系の試験区分からも採用しているようですが、技術系区分から採用されると、どのような仕事に携わるのですか？

A

試験区分によって採用後の業務内容が固定される省庁もありますが、税関では基本的に採用時の試験区分に関わらず、税関業務全般に携わっていただいています。したがって、技術系区分から採用された方も、行政区分から採用された方と同様に密輸取締りや輸出入通関のほか、税務調査、庶務事務、会計事務等の業務を行う部署に配属されることがあります。なお、税関には(化学)分析を行う部署や農産品・機械等の輸出入通関を担当する部署等があり、学生時代に習得された専門知識を存分に発揮できる機会も多くあります。

Q3

麻薬探知犬を扱う仕事に携わるには特別な資格等が必要ですか？

A

麻薬探知犬を扱う職員のことをハンドラーと呼びますが、ハンドラーになるための特別な資格等はありません。採用後に選考され、麻薬探知犬の取り扱いに関する訓練を経て、ハンドラーとして活躍することとなります。

Q4

勤務時間が不規則な部署はありますか？

A

海港での密輸取締りを行う部署や空港での旅具検査を行う部署等の一部では当直勤務を行っています。当直勤務を行う職員についても日勤勤務の職員と同様に、勤務時間は1週間当たり38時間45分、休日は4週8休となるようにローテーションが組まれています。

Q5

税関での採用実績を教えてください。

A

過去3年間での採用実績は以下のとおりです。

	大卒程度			高卒者程度		
	行政	その他	計	事務	技術	計
平成30年度	236	39※	275(92)	78	10	88(28)
令和元年度	257	33※	290(108)	82	10	92(32)
令和2年度	217	33※	250(97)	101	9	110(45)

()内は女性の数

※平成30年度 電気・電子・情報8、機械2、農学3、物理3、土木4、建築1、化学18

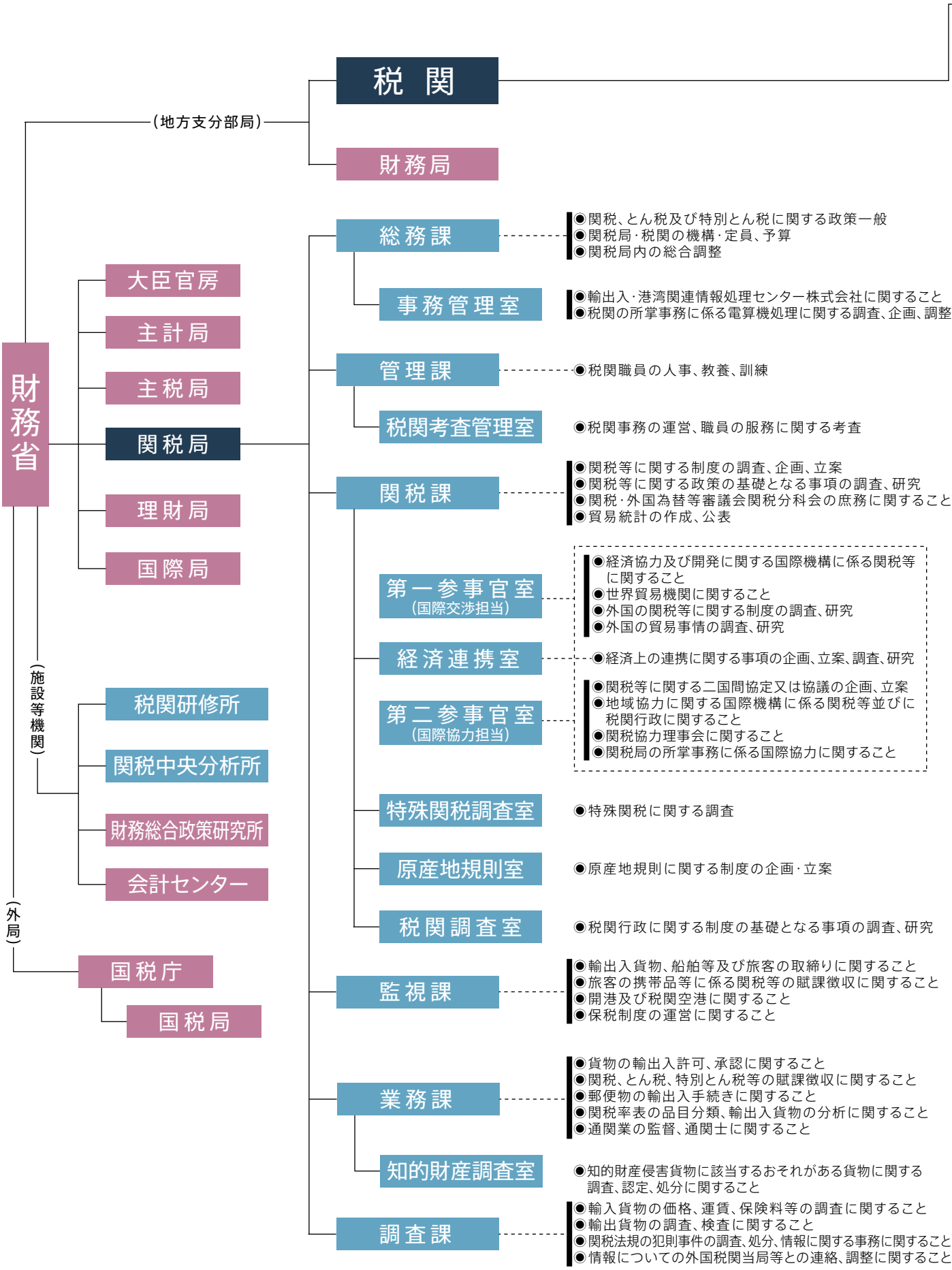
令和元年度 電気・電子・情報6、農学4、物理2、土木6、化学15

令和2年度 電気・電子・情報5、機械3、農学3、物理4、土木2、化学16

税関職員の海外勤務・留学 (令和2年4月現在)



財務省税関の組織



税関

9税関9,826人 ※令和2年度定員

総務部	税関事務の総合調整、税関についての広報及び広聴
監視部	船舶・航空機・輸出入貨物の取締り、旅客・乗組員の携帯品等の取締り・検査及び徴税、保税地域等の許可又は承認及び取締り
業務部	輸出入貨物に係る審査・許可及び承認、輸入貨物に係る関税等の税率の適用・確定及び徴税、輸出入貨物の分析、国際郵便物の検査及び徴税
調査部	輸出入された貨物に関する調査、犯則事件の調査及び処分、情報の管理及び分析、外国貿易統計の作成

税関支署[68] 税関出張所[104] 税関監視署[10]

財務省

関税中央分析所

税関研修所

函館税関

東京税関

横浜税関

名古屋税関

大阪税関

長崎税関

沖縄地区税関

門司税関

神戸税関

総合職採用

財務省関税局管理課人事第一係

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1
財務省本庁舎3階(北357)
電話(代表)03-3581-4111(内線2471)
夜間(直通)03-3581-0226

総合職の採用に関するお問い合わせ

zeikan-saiyo@mof.go.jp

税関ホームページ

<http://www.customs.go.jp>



財務省ホームページ

<https://www.mof.go.jp>



一般職採用

函館税関 総務部人事課人事係

〒040-8561 函館市海岸町24-4
函館港湾合同庁舎
電話 0138-40-4225
<http://www.customs.go.jp/hakodate/>



東京税関 総務部人事課人事第3係

〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11
東京港湾合同庁舎
電話 03-3599-6227
<http://www.customs.go.jp/tokyo/>



横浜税関 総務部人事課人事第1係

〒231-8401 横浜市中区海岸通1-1
電話 045-212-6020
<http://www.customs.go.jp/yokohama/>



名古屋税関 総務部人事課人事第1係

〒455-8535 名古屋市中区入船2-3-12
名古屋港湾合同庁舎
電話 052-654-4025
<http://www.customs.go.jp/nagoya/>



大阪税関 総務部人事課人事第1係

〒552-0021 大阪市港区築港4-10-3
大阪港湾合同庁舎
電話 06-6573-8809
<http://www.customs.go.jp/osaka/>



神戸税関 総務部人事課人事第1係

〒650-0041 神戸市中央区新港町12-1
電話 078-333-3013
<http://www.customs.go.jp/kobe/>



門司税関 総務部人事課人事第1係

〒801-8511 北九州市門司区西海岸1-3-10
門司港湾合同庁舎
電話 050-3530-8314
<http://www.customs.go.jp/moji/>



長崎税関 総務部人事課人事係

〒850-0862 長崎市出島町1-36
電話 095-828-8621
<http://www.customs.go.jp/nagasaki/>



沖縄地区税関 人事課人事係

〒900-0025 那覇市壺川3-2-6
壺川ビル3階
電話 098-996-5514
<http://www.customs.go.jp/okinawa/>



財務省税関一般職の採用は、各税関で実施しております。このパンフレットをご覧になって、税関に少しでも興味をお持ちの方は、上記にお問合せ下さい。また、各税関のホームページに管轄や採用案内等を掲載しておりますので、そちらもご覧下さい。



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。